

3-2 中心市街地の活性化

| No. | 事務事業名 | 事業実施課 | 事業区分 | 事業概要 | 財源 | 概算コスト(単位:千円) | | | | 主な活動指標 | | | | 主な成果指標 | | | | 一次評価結果 | 二次評価結果 | 評価理由 | | |
|-----|--------------|--------------|------|--|-----|---|---|---|---|-------------------------------|--|--|---|--------------|--|--|--|--|------------------|------|------|--|
| | | | | | | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 指標名 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 指標名 | 23年度 | 24年度 | | | | 25年度 | 26年度 |
| 1 | 中心市街地活性化推進事業 | 経済局 経済政策課 | その他 | ○事業開始年度 平成19年度 【概要】第2期鹿児島市中心市街地活性化基本計画の着実かつ円滑な推進を図るとともに、中心市街地活性化協議会に対する支援等を行うことにより、都市機能の増進及び経済活力の向上を促進する。 【対象者】中心市街地に関わる事業者 【具体的な活動内容】 ・中活計画のフォローアップ (1)第2期計画の数値目標や計画掲載事業の達成状況のフォローアップ (2)第2期計画の変更 ・中活協議会に対する支援 ・市内推進調整会議及び同幹事会の運営 | 市単 | [概算コスト] 19,780 (内訳) ・決算額 3,934 ・人件費 15,846 (2.00人) | [概算コスト] 23,677 (内訳) ・決算額 7,979 ・人件費 15,698 (2.00人) | [概算コスト] 20,343 (内訳) ・決算額 4,791 ・人件費 15,552 (2.00人) | [概算コスト] 19,031 (内訳) ・予算額 3,549 ・人件費 15,482 (2.00人) | 中活計画掲載事業の着手状況 (単位:事業) | [目標値] 79 [実績値] 77 〈達成率〉 97.5% | [目標値] 80 [実績値] 79 〈達成率〉 98.8% | [目標値] 59 [実績値] 59 〈達成率〉 100.0% | [目標値] 64 | 歩行者通行量(30地点、土日) ※24年度までは(20地点、土日) (単位:人/日) | [目標値] 150,000 [実績値] 129,869 〈達成率〉 86.6% | [目標値] 150,000 [実績値] 130,712 〈達成率〉 87.1% | [目標値] 171,000 [実績値] 152,707 〈達成率〉 89.3% | [目標値] 171,000 | A | A | 継続 (理由) 中心市街地の活性化を図るため、必要な事業である。 なお、目標達成のために、より一層の取組みを講じること。 |
| 2 | 街なかサービス推進事業 | 経済局 産業支援課 | その他 | ○事業開始年度 平成24年度 【概要】中心市街地における来街者の利便性と回遊性の向上を図るため、天まちサロンにおいて観光・イベント情報の提供やベビーカー貸出など街なかサービスのほか、特産品等の展示販売などを行う。 【対象者】市民・観光客等 【具体的な活動内容】下記の業務を委託し実施 ・来街者サービス(ベビーカー貸出、手荷物預かり等) ・観光情報、特産品等の情報提供 ・特産品等の展示・販売、にぎわい創出イベントの実施 ・空き店舗見学会、空き店舗対策セミナーの開催 ・中心市街地回遊行動調査の実施 | 国補助 | [概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.00人) | [概算コスト] 41,966 (内訳) ・決算額 38,434 ・人件費 3,532 (0.45人) | [概算コスト] 35,788 (内訳) ・決算額 32,833 ・人件費 2,955 (0.38人) | [概算コスト] 33,449 (内訳) ・予算額 32,365 ・人件費 1,084 (0.14人) | 開館日 (単位:日) ※24年度は6月以降の値 | [目標値] [実績値] 〈達成率〉 | [目標値] 302 [実績値] 302 100.0% | [目標値] 363 [実績値] 363 100.0% | [目標値] 363 | 利用者 (単位:人) ※24年度は6月以降の値 | [目標値] [実績値] 〈達成率〉 | [目標値] 30,200 [実績値] 34,063 112.8% | [目標値] 60,000 [実績値] 73,317 122.2% | [目標値] 73,317 | A | B | 見直し (理由) 中心市街地の活性化に必要な事業であるが、利便性の向上策を図り、利用者増となるよう事業内容を見直すべきである。 |